

第3回 議会活性化検討特別委員会 会議録

日 時 令和5年2月14日（火曜日） 午前9時30分 ～ 午前10時32分
場 所 白杵庁舎2階 全員協議会室

出席委員の氏名

委員長 戸匹 映二 副委員長 伊藤 淳
委 員 川辺 隆 委 員 匹田久美子 委 員 内藤 康弘
委 員 大塚 州章 委 員 武生 博明

欠席委員の氏名

（ な し ）

オブザーバー

議 長 梅田徳男

説明のため出席した者の職氏名

（ な し ）

出席した事務局職員の職氏名

局長 林 昌英 次長 後藤秀隆 書記 高橋悠樹 主査 大井智香子

傍聴者

（ な し ）

会議に付した事件

1. 素案について
 2. その他
-

午前9時30分 開議

◎委員長（戸匹映二）

ただいまから、議会活性化検討特別委員会を開催いたします。

それでは、今回の協議事項に入る前、もう一度この特別委員会の趣旨・目的について、申し上げさせていただきたいと思っております。

この議会活性化特別委員会、第3回目であります。議長の方から素案が提出されます。この議長から提出素案を、今後の議会活性化に対しての検討事項として、進めていくかどうかの方向性を決める、そういう委員会であります。

ですから、具体的な内容は、また改めて、この特別委員会が終了した後に、別の協議体になるかもしれませんが、そこで具体策を詰めていくという形になります。本委員会では、今日議長の出された素案の中身を検討するというだけでなく、素案の方向性、骨子はこれで良いかという、そういう検討をしていただきますので、その点をご理解、ご了承いただきたいと思っております。

皆さん、これについてはご了承、よろしいでしょうか。

(「はい」 の声)

◎委員長（戸匹映二）

それでは、議会基本条例に基づきまして、議長の素案に絞って協議を行いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

初めに、議長より今回の素案について発言がありますので、お願ひしたいと思います。梅田議長よろしくお願ひします。

◎議長（梅田徳男）

今日は、先ほど委員長が申されました通り、懸案事項となっております議会基本条例の具体的な対応なり、まだ具体化されていない運用面について、たたき台を素案という形で提案させていただきます。委員の皆様には、ご審議あるいはご検討をよろしくお願ひしたいと思います。

このたたき台は、さっき委員長が申されました通り、項目によっては、全てが骨子部分のみの方向性ということではなくて、結論的にもそれ1本しかないという部分もありますので、そういう方向に沿ってのご検討をお願ひしたいということで、よろしくお願ひします。

それからもう一つは、その具体化の検討にあたっては、また新たな特別委員会の開設も考えないといけない、そういうことにもなる可能性がありますので、その辺の内容なり、組み立てについてもご検討いただくということになりますので、よろしくお願ひいたします。

最後にスケジュール面では若干遅れ気味というふうに私も感じておりますので、本日を含め、これまでの経過と検討案で提示できるものは、できるだけ早く全員協議会なりで、委員の皆様へ報告をさせていただいて、ご意見をいただき、最終案へと整理を進めていただきたいというふうに思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

素案については本日の次第に、項目ごとに記載がされておりますので、詳細につきましては、この後資料合わせて事務局の方から説明をいただきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

◎委員長（戸匹映二）

それでは、協議事項の1、素案について、1番から5番まであります。順番に事務局の方から説明をしていただきまして、それに対して、1項目ずつ協議をしていきたいと思いま

す。

○書記（高橋悠樹）

（ 配付資料に基づき説明 ）

◎委員長（戸匹映二）

以上で、1項目の情報公開について説明が終わりました。大まかなイメージは分かったと思います。これについて、皆さんよりご意見がありましたらお伺いしたいと思います。

◎委員（大塚州章）

事務局にお伺いしたいんですけど、視察報告とか他市の例がありますが、どれだけの方が見ているかという、ヒット数とか、そういうのは何か分かりますか。

○局長（林 昌英）

申し訳ありませんが、そのヒット数までは、こちらでちょっと把握できていない状況です。

◎委員（大塚州章）

こういうのは、もうどこもやり始めているし、どれだけの方が見ているかというのが重要だと思うので、これを白杵市民が見てくれればいいんですけど、見られるような段取りをこの特別委員会で考える。または、自分たちで広報するとかいうことも含めて、何か検討をしてですね。これを載せたけど、見ていないとなれば徒労に終わってしまう可能性がありますので、その辺はまた皆さんで、いい案ができればと思います。

◎委員（匹田久美子）

行政視察報告書の見本としては、例に他市議会の委員会ごとの視察報告書を載せていますけど。白杵市議会もこういう形で載せるというのが案ですか。1人ずつ、行政視察の報告書は出していると思いますが、議員一人ひとり、同じ場所に行っても感じたこと、学んで来たことが違うので、1人ずつ載せるというのもあると思うんですけど。そうすると容量も大きくなって、ますます見てもらえないですかね。案としては、どちらをご提示されているんですか。

○局長（林 昌英）

先ほど冒頭に委員長のほうからも話があったと思うんですけども、今回の特別委員会では、その内容を具体的にどういうふうな形式で掲載するかということではなくて、視察報告や議案の賛否とか、そういったものを載せていくのかいかないのか、どういうものを情報公開していくのかという骨子（方針）をどうするかということなので、その掲載内容の中身がこれで良いのかどうかというのは、今後の話になろうかと思いますので、その点ご理解いただきたいと思います。

◎委員（川辺 隆）

今の説明に関して。大塚委員、匹田委員がおっしゃった内容からすると、まずは視察報告をホームページに掲載するかということ聞かれている。それは、する方向で良いかと。これを載せるということに関して、協議をしているということですね。

◎委員長（戸匹映二）

ホームページに掲載していくことを、今後検討していくのかどうか。そういうことでもあります。情報公開として、こういうことを協議していく方向で良いかということです。

他にご意見がなければ、続いて2項目の市民参加の機会の充実について事務局より説明をお願いします。

○書記（高橋悠樹）

（ 配付資料に基づき説明 ）

◎委員長（戸匹映二）

事務局より説明がありました。議長からの方向性としては、各種団体等との意見交換会を開催していくということです。いわゆる、市民と意見交換をする機会を設けることに対して、その方法については、今後協議をしていくという方向性で良いのかどうか。そういうところで、ご意見がありましたらお願いします。

◎委員（川辺 隆）

そもそも、この議会基本条例ができる前は、教育民生委員会だったら学校に行って、子どもたち、先生とお話をしたり、総務委員会は確か1年を通して、昨年から地域振興協議会を回られた。たまたま、臼杵市議会には、この条例がなかったから、要するに委員会活動としてやっていたけど。これからは、市議会の活動の中に入ってくる市民との意見交換会ということで報告をしていけば、今と変わらないということによろしいんですか。

◎委員長（戸匹映二）

そうですね、それは変わらないです。ただ、議会基本条例ができたんで、これを基にした動きということにもなると思います。

◎委員（匹田久美子）。

委員会で、学校とかに現地視察に行った場合は、視察という要素が大きかったように思うんですけども。先方からの意見を積極的に聞いて、議会側の材料として取り入れるという部分が、より色濃くなるというふうに理解しているんですけど、そういう認識で良いですか。

◎委員長（戸匹映二）

そうですね。やはり意見交換会ということですから、それは色濃くなる。そういう方向性でいこうというものだと思います。

◎議長（梅田徳男）

匹田委員が言われた部分もあるんですが。基本的に事務局のほうも説明しましたように、苦情を聞く、そういう場になる可能性が高いんです。

要するにテーマを決め、そういう意見を出す内容を絞っていく。意見交換をして、それを政策提言等に繋げる。そういう流れを意識した活動ということで進める。進め方としては、そのほうがベターだというふうに思っています。

◎委員（大塚州章）

その方向で私も良いと思います。武生委員が議長のときから、もう20年前からその方向

でやっていて、政策討論の中で、それをやろうというふうなことで、ずっとやってきましたんで。その流れを汲んで、この前も総務委員会で、市民との懇談会を地域振興協議会でやってきて、その後報告をして、それが市政にどう反映されたのか。今度は市民にフィードバックすると。今後、地域振興協議会が11日に全体会議をやる。それがフィードバックだと思いますんで、その流れを一貫してやるということが大事だと思います。その辺のところも含めて、議長にはお願いをし、私はこれに賛成したいと思います。

◎委員（内藤康弘）

先ほどから説明の中で、今までと流れは変わらない。議会基本条例の中で、一つ上の段階をやるんだということですよね。先ほど議長が言われたように、政策提言あるいは立案ですよ。そういうところまで突っ込んでいけるようにしていただければ良いのかなと。今、大塚委員が言われたフィードバックも大切ですけど、その後、意見を聞いた中で立案とか、そういうところまでいければ、ありがたいと思っています。そこまでやらないと、意味がないと思います。

◎委員長（戸匹映二）

大変良いご意見をありがとうございます。他にご意見はありませんでしょうか。様々あったご意見も、また今後検討はしていくという形になると思います。

続いて3項目の広報機能の充実について、事務局の説明をお願いいたします。

○書記（高橋悠樹）

（ 配付資料に基づき説明 ）

◎委員長（戸匹映二）

事務局のほうより、広報活動の広報機能の充実について、素案の説明がありました。これに関してご意見ありましたらお願いいたします。

◎委員（匹田久美子）

あまり一足飛びに言っても大変だと思うので、これは追々と思っているんですが。広報機能の充実の一つの手段として、動画、YouTubeの配信とかも検討に入れていただきたいと思っています。よろしくお願いします。

◎委員（川辺 隆）

12月からLINEで議会日程を周知したということで、さっき大塚委員からも発言がありました。これはヒット数が見られるんじゃないですかね。

○局長（林 昌英）

LINEのヒット数について、こちらでは分からないのですが。YouTubeという話が出ましたが、資料には記載していませんが、録画配信をホームページで見られるようになっていますので、12月市報の議会だよりの中に、このようなQRコードを入れ、このQRコードから議会ホームページの録画配信に進み、本会議の内容が見られるような取り組みもして、閲覧数の増加を図っています。

◎委員（大塚州章）

その辺を何か全員協議会とかで、こうやったら見られますよというのを、皆さんに1回周知していただければと思います。

◎委員（内藤康弘）

匹田委員に質問します。YouTubeは、なぜ必要なんですか。

◎委員（匹田久美子）

そもそも広報機能を充実するっていうのは、大塚委員も最初におっしゃったように、今より多くの市民に議会について関心を持ってもらうことだと思いますので、動画はやっぱりとっつきやすいですね。例えば、何か議員紹介とかを写真と文字でするよりも、YouTubeで配信したりしたら、面白がって見てくださる方も増えるんじゃないかと個人的には思うんですけど。いろいろ検討する必要があると思いますので、すぐに求めるつもりはないんですけど、検討項目には挙げていただきたいと思っています。

○書記（高橋悠樹）

今の動画の話で、本会議の録画配信ですが、インターネット放送を平成30年からやっております。そのときにYouTubeで行う手段というの、一つ検討課題としてあり、いろいろ研究をしたところ、管理面で少し問題があるというようなことがあったように思います。現在、委託業者に管理をお願いして録画配信を実施しています。今、管理面において何が具体的に悪かったのかをいろいろと申し上げることはちょっとできないんですけども、そういう経過もあったことは、ご報告をさせていただきます。以上です。

◎委員（川辺 隆）

大分県高等学校PTA連合会は、2年前より、すべての会議、セミナーをYouTube配信しようということで、取り組みを始めました。始めた結果だけを言いと、実は費用対効果が全くないという事実に至りました。

YouTubeの配信は、実は限定されていまして、見る方がまずYouTubeをしないといけない。そのうえで、これを周知しているんですけど、全然見てくれません。約2万2,000人の会員がおりますけれども、見たのは30人程度でした。YouTubeは、響きはいいんですけど、具体的な方策としては、市役所が行っているインターネット配信、これのほうが検索しやすいと思います。たぶん、それもヒット数を当たってみたら、そんなにはないと思います。

◎委員（内藤康弘）

この広報の部分は、大変難しいと思います。ちょっと前に戻りますけど、資料8ページ豊後大野市の意見交換会の中で、年4回発行している議会だよりを全戸配布は無駄、読みたい人だけに配ればよいというようなご意見が、市民からあるわけですね。だから、うちももうそれをおそらくやらないと思うんですけど、市報の中でページをとってやればいいのかなど。これは今後の議論が必要です。

◎議長（梅田徳男）

先に申し上げれば良かったんですけども。この3項目の中で、学校訪問というのがありますけども。この前出席した人材育成会議の中で、市長は中学生と意見交換をする、それから、県議も同じように中学生と意見交換をするということがありまして、これを頭に置いてからってということではないんですけども、白杵市議会として、ちょっと寂しい思いをしましたんで、本当に子どもたちとの意見交換というのは必要ですし、子どもたちに興味を持ってもらうという意味でも、こういう意見を交わし合う場というのは、本当に必要だと思うんで。そういう意味で、この項目については、ぜひ前向きにご検討いただきたいと思います。よろしくをお願いします。

◎委員長（戸匹映二）

次の項目に移ります、4番目の議員研修についてです。事務局より説明をお願いします。

○局長（林 昌英）

（ 配付資料に基づき説明 ）

◎委員長（戸匹映二）

議員研修についての説明が終わりました。これに対してご意見がありましたらお願いいたします。

◎委員（匹田久美子）

これもちょっと中身への言及になるのかもしれないですけど。先月、呉市に視察に行った時に、呉市議会にとっても充実した図書館がありました。書籍って結構値段が高くて買うのも大変なんですけど、ああいうふうに白杵市議会にも新刊を含めた書籍を買えて、議員みんなの共有財産となるようなものがあるといいなと個人的に思ったんですけど。それと、能力を向上させるために研修をするにはお金がかかると思うんですけど、政務活動費等の議論は、これとはまた別の話ということになりますか。

○書記（高橋悠樹）

政務活動費については、前回の議会基本条例を制定する際の特別委員会のほうで、議論がなされておりまして、当初は素案の中に政務活動費を入れておりました。最終的に政務活動費は、条例に載せなかったという経緯がございます。

もちろん特別委員会の中で、検討の余地が全くないということではなかったんですけど、現状では政務活動費については、条例に載せなかったんで、必要に応じて、今後、他の協議体で、必要に応じて検討する可能性はあると思います。今は条例に載せていないというのが現状です。

あと、議会も図書費というのは確かあったはずなんですけど、実務に関する本ですとか、またそういった図書室に置くものを購入できないことはないんで、そこは参考資料等をもとに、必要に応じて購入というのは検討できると思います。

○局長（林 昌英）

図書費の購入ということで、予算はわずかですけども、2万円だったか、図書費として購

入の予算は設けておりますので、その中で必要な分を購入して図書室を充実させることは、今でもできるような状態となっております。以上です。

◎委員長（戸匹映二）

それでは議員研修に関しては、これで終わります。次に最後、5番目の議会活性化について事務局の説明を求めます。

○書記（高橋悠樹）

（ 配付資料に基づき説明 ）

◎委員長（戸匹映二）

議会活性化について説明が終わりました。これに対してご意見がありましたらお願いいたします。

（ な し ）

◎委員長（戸匹映二）

それでは、ないようですので、この議会活性化については終わりたいと思います。それでは、事務局のほうから議会基本条例に基づき説明のありました今後の検討項目 1.情報公開 2.市民参画の機会の充実 3.広報機能の充実 4.議員研修 5.議会活性化 この5項目について意見を皆さんに聞かせていただきました。

この5つの項目を、これから具体化していくため、今後も検討していくという方向性について、皆さんご異議ありませんでしょうか。

（ 「異議なし」の声 ）

◎委員長（戸匹映二）

異議なしということで、今回の議会活性化検討特別委員会では、この5項目について具体的な検討を進めていくということで、その方向性を決定いたしました。方向性が決まったところで、今後の流れについて事務局のほうから、説明をしていただきたいと思います。

○書記（高橋悠樹）

（下記3点について説明）

①全員協議会で全議員に対し、特別委員会の決定事項を報告する必要があること。

②第4回特別委員会において、報告書の確認を行い、調査の終了について協議をする予定であること。

③令和5年3月定例会の閉会日に、委員長報告をする予定であること。

◎委員長（戸匹映二）

こういう流れで進めていきたいと思いますが、皆さんのほうから何かご意見はありますでしょうか。議長のほうから、何かありますか。

◎議長（梅田徳男）

議会基本条例の5条の関係、いわゆる議会のBCP。この関係と反問権については、議会運営委員会のほうで検討していただくということで、この特別委員会からは外しております。ご理解をいただいていると思いますけども、念のために申し添えます。それからもう一

つ、今日検討いただいた内容をもって全員協議会で皆さんに説明をする。ご意見をいただいて、もう1回特別委員会を、必要があれば皆さんに集まっていたいて、最終決定をする。そして、最終日に委員長報告という形で確認をする。そして、次の特別委員会の設定というのがなければ、なかなか動けない状態になりますので、できたらスムーズに前に進めるため新たな特別委員会の設置についても、事務局にも少し話をしましたが、どういう方法で進めたらいいのか検討していただきたいと思います。3月定例会以降も具体的な検討が進められるように、整備を進めていただきたいというふうにお願いしています。

◎委員長（戸匹映二）

ありがとうございます。では、第3回本特別委員会では議会基本条例の運用に関する方向性が決まり、これを進めていくということでございます。その他、皆さんからありますか。

◎委員（川辺 隆）

開会日の全員協議会で、この方向性で協議を進めていきますという報告をするわけですが、そこで意見は求められませんよね。

◎委員長（戸匹映二）

意見はあったとしても、意見を聞くのみという形で、なかなか議論をすることはできないと思いますが。

◎議長（梅田徳男）

意見を聞いて、必要があれば検討委員会の皆さんで、またご検討をして、最終的に決めさせていただきます。

◎委員長（戸匹映二）

意見を聞いたうえで、内容によっては特別委員会を開かないといけないですし、開かなくても良ければ、そのまま最終報告という形にしていきます。

◎委員（川辺 隆）

なぜかという、今日の会議でも、我々はこの協議事項を行うか、行わないかという議論をただで、その具体的な内容までは踏み込んでいないんです。内容に一步踏み込んだ意見が出たときに、その意見を仮に受け入れた場合は、それに対しての返答が必要になる。全員協議会でのご説明の時は、少し慎重にやってもらわないと。要するに全ての項目で、多種多様な意見が、たぶん出ると思います。

◎委員長（戸匹映二）

そうですね。そこは趣旨をきちんと説明したうえで、ご意見を聞くという形をとらせていただきたいと思います。他にご意見ありませんでしょうか。

（ 「なし」 の声 ）

◎委員長（戸匹映二）

それでは、以上で第3回の議会活性化検討特別委員会を終わりたいと思います。大変ありがとうございました、お疲れ様でした。

午前10時32分 閉会

白杵市議会委員会条例第30条第1項の規定を準用し、ここに記録を作成する。

令和5年2月14日

議会活性化検討特別委員会
委員長 戸匹映二